

アトサヌプリ

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 11 月の活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～図 5）

6日に現地調査を実施しました。アトサヌプリ溶岩ドームでは噴気活動が続いており、点在する複数の噴気孔から白色の噴気が数m～10m程度上っていました。それぞれの噴気温度は100～120℃（直接測定）で、前回（2007年8月：100～120℃）と比較して変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、特段の変化は認められませんでした。

なお、熊落し火口を含む溶岩ドーム山頂部では噴気は認められませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12月6日現在）

気象庁は平成19年12月1日より、アトサヌプリについて噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12月1日に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・ 活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。アトサヌプリの噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。

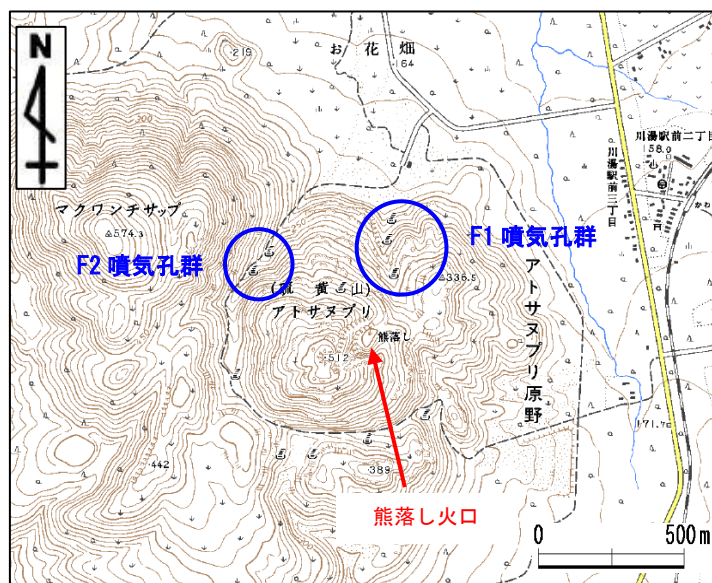


図1 アトサヌプリ 周辺図

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平17総複、第650号）。



図2 アトサヌプリ 熊落とし火口の状況
(2007年11月6日 南東側から撮影)



図3 アトサヌプリ F1噴気孔群の状況
(2007年11月6日 北東側より撮影)

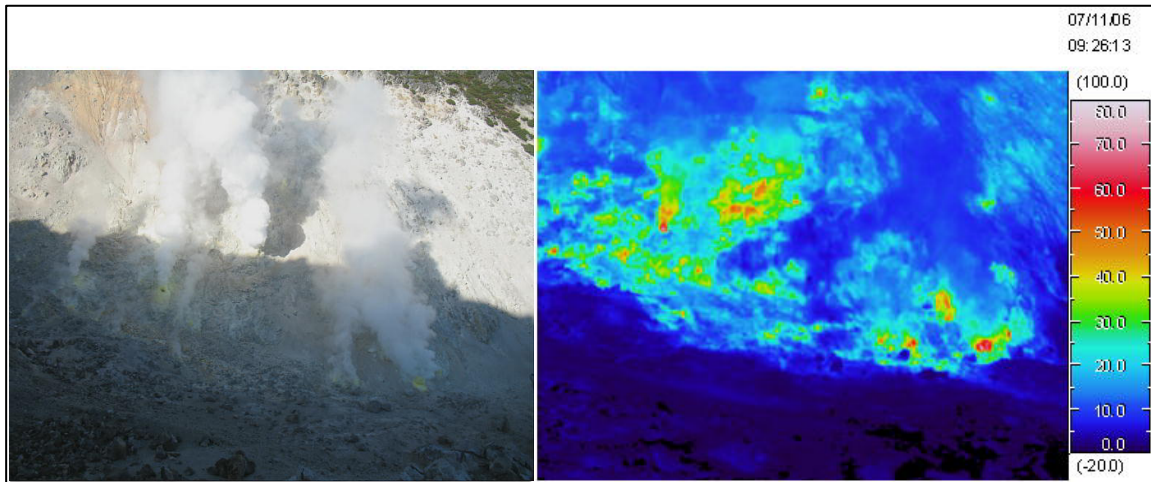
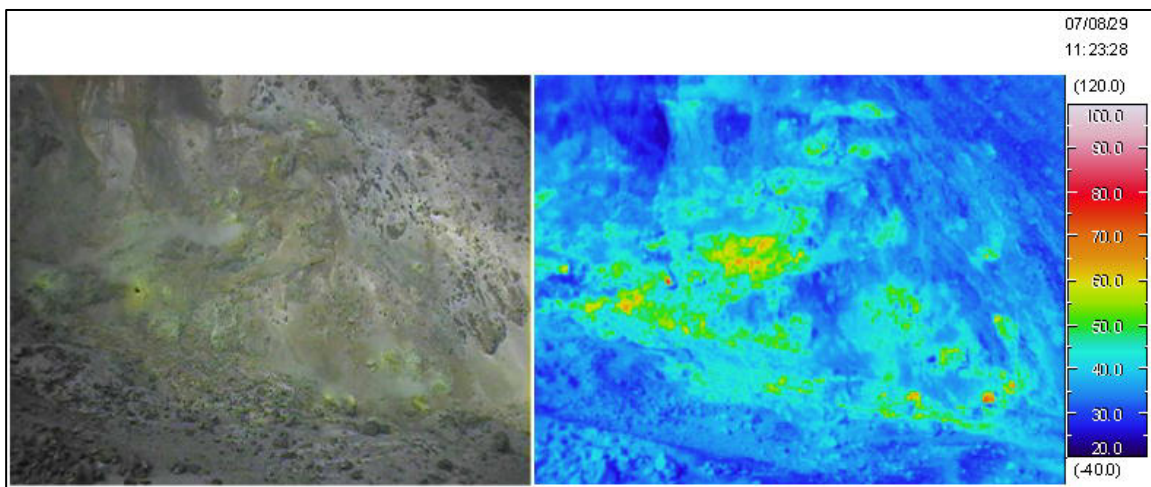


図4 アトサヌプリ F2噴気孔群の地表面温度分布
(上段：2007年8月29日 下段：2007年11月6日 南東側より撮影)

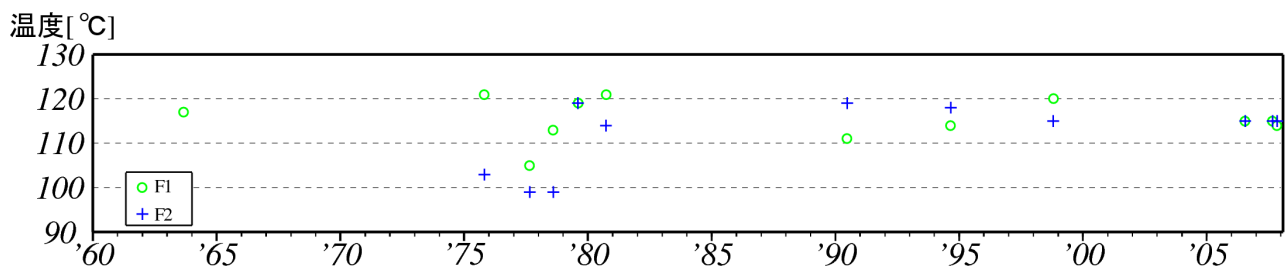


図5 アトサヌプリ F1・F2噴気孔群の温度変化 (1963年～2007年)